

第 15 回院内コンサート ♪ ♪ ♪

2019 年 7 月 13 日 (土)

湘南海亀 with カメカメビームスの皆様をお迎えし、第 15 回湘南鎌倉総合病院 院内コンサートを開催しました。

海の日之三連休初日、企画の段階では「夏本番！沖縄音楽のコンサート」のはずでしたが、今年はまさかの長い梅雨の真っ最中。肌寒ささえ感じる小雨降る中での開催となり、「夏先取り、沖縄から夏がやってくるコンサート」になりました。

曲目は、「安里屋（あさどや）ゆんた」、「渡りざう～瀧落菅攪（たちうとうしすががち）」、「谷茶前節（たんちゃめえぶし）」、「芭蕉布（ばしょうふ）」、「ひやみかち節」、「涙（なだ）そうそう」♪ ふりがなをつけていただいても読むのが難しいのですが、当院の沖縄出身の職員たちが、笑いながら「これはね、こう読むんですよ」と教えてくれました。

沖縄の伝統楽器、三線や三板の他にも、西アフリカの太鼓ジャンベや、箏、ギター、笛が登場。「サー ユイユイ」の合いの手とともに、「安里屋ゆんた」で、一気に沖縄のゆったりとした空気が流れ、8 人のメンバーの演奏に、歌に踊り、丁寧な解説を交え、あっという間の 30 分でした。

プログラムの最後は、「涙そうそう」♪ 夏川りみさんの歌でも知られる大ヒット曲です。涙そうそうとは、涙がポロポロ落ちるという意味だそうです。会場の皆様にも一緒に歌っていただくと、涙を流す方もいらっしゃり、それをご覧になった演奏メンバーも涙ぐんでしまい…、空間を共にし、音楽を通じてお互いの心に触れる…音楽の持つ力は偉大です。

アンコールは、「豊年音頭（ほうねんおんど）」♪ 沖縄では演奏会や宴席の最後に必ず踊られる「カチャーシー」の定番の曲だそうです。手首を回しながら左右に振って踊るカチャーシー。飛び入り参加してくださる方も、座ったまま手を動かしてくださる方も、会場ににこやかな笑顔が広がりました。

HOT な沖縄を気温ではなく、心の中に感じるコンサートになりました。湘南海亀 with カメカメビームスの皆様、ご来場の皆様、ありがとうございました。



皆さんがこのお衣装で登場なさって、サーユユイ♪「安里屋ゆんた」で一気にゆったりとした沖縄時間が流れます。



「渡りざう～瀧落菅攪」では、沖縄古武道の演舞を披露してくださいました。石臼を回す柄の部分をもしたトゥンファーという武器を手を持っているそうです。キレのある動きがカッコいい！



弦楽器…小さくても大きな音が出る三線と、繊細なギターのコラボレーションで聴かせます。外は雨。救急車が到着し、病棟には入院患者さんがいらっしやって、手術室は稼働中。この会場以外は何も変わらない病院の日常の中、院内コンサートの時、ここだけは非日常の空間が広がります。



一番左は、カスタネットのような沖縄の小さな打楽器、三板（さんば）。一番右には、西アフリカの打楽器ジャンベ。箏も加わり、伝統の楽器以外も違和感なく混在して沖縄の物語を紡ぎます。

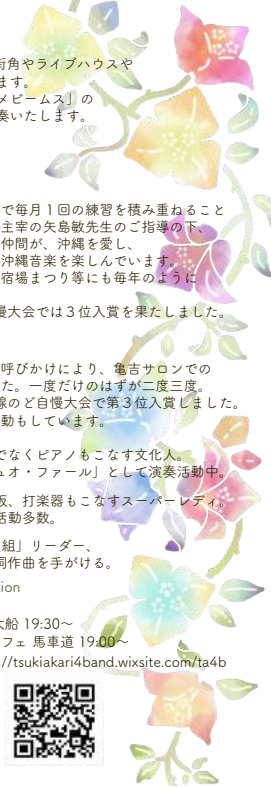


「涙そうそう」…歌詞に込められたメッセージに心を込めて歌で届ける。
歌う側、聴く側、皆様それぞれ涙そうそうの想いをお持ちなのでしょう。



様々なイベントの最後に、沖縄民謡に合わせて踊るカチャーシーは、「かき回す」「かき混ぜる」が語源だそうです。男性は手を握り女性は指を伸ばして、手首を回し、喜びも悲しみもかき混ぜて皆と分かち合う、沖縄ならではの踊りです。飛び入り参加、大歓迎♪ 多くの方が、座ったまま、手首を動かしたり手拍子で参加してくださいました。

第15回院内コンサートのプログラムとチラシです



湘南鎌倉総合病院
第15回 院内コンサート

2019年7月13日(土)

湘南海亀 with カメカメビームス

～プログラム～

1. 安里屋(あさどや)ゆんた
2. 渡りざう～瀧落菅攪
(たちうとうしすががち)
3. 谷茶前(たんちゃめえ)節
4. 芭蕉布(ばしょうふ)
5. ひやみかち節
6. 涙(なだ)そうそう

私たちは藤沢・鎌倉その他の各地の街角やライブハウスやサロコンサートにて演奏しています。
本日は、「湘南海亀」と「カメカメビームス」のスペシャルコラボレーションで演奏いたします。
どうぞお楽しみください。

「湘南海亀」
湘南海亀は、藤沢市の村岡公民館で毎月1回の練習を積み重ねること今年で17年。茅ヶ崎三線クラブ主宰の矢島敏先生のご指導の下、仕事も年齢も様々、個性あふれる仲間が、沖縄を愛し、音楽を愛してのんびりゆったり、沖縄音楽を楽しんでいます。村岡公民館まつり、品川、小田原宿場まつり等にも毎年のように参加しています。
2015年、第11回湘南三線のど自慢大会では3位入賞を果たしました。

「カメカメビームス」
カメカメビームスは、ヤン高野の呼びかけにより、亀サロンでのライブ演奏のために結成されました。一度だけのはずが二度三度。ついには2019年、第15回湘南三線のど自慢大会で第3位入賞しました。主要メンバーそれぞれがライブ活動もしています。

ヤン高野(高野陽一)三線だけでなくピアノもこなす文化人。サクソ奏者の奥様と「ル・デュオ・ファール」として演奏活動中。
若松ひとみ 唄三線、笛、三板、打楽器もこなすスーパーレディ。「ありんくりん」としてライブ活動多数。
サウダーズ荻原 「月明かり4人組」リーダー、ギタリスト&ボーカリスト、作詞作曲を手がける。

「月明かり4人組」Information
★ライブ予定★
7月20日(土) ハニービー 大船 19:30～
8月24日(土) パラダイスカフェ 馬車道 19:00～
★ホームページ★ <https://tsukiakari4band.wixsite.com/ta4b>
CD絶賛リリース中!



〔曲目解説〕

1. 「安里屋」は地名、「ゆんた」とは、「結び歌」または「読み歌」という沖縄県八重山地方に伝承される歌謡のことです。多くは長編の叙事詩で、農作業や家造りなど労働の際に男女掛け合いで歌われます。原曲は竹富島に伝わる古い民謡です。
1934年には石垣島出身の星克(1905年ー1977年)が作詞、沖縄師範学校で音楽教師を務めていた宮良長包(1883年ー1939年)が作曲した「安里屋コンタ」がコロムビアレコードより発売され日本全国に広められました。「マタハリヌツンダラカヌシャマヨ」という囃子言葉は八重山方言の古語で「また逢いましょう、美しき人よ」という意味。「サー ユイユイ」は調子を合わせる合いの手です。ギターやジャンベ、やわらかな踊りも加わって、にぎやかに幕を開けます。
2. 王宮(首里城)で育まれ、今も受け継がれている琉球古典音楽。「渡りざう」は曲調を整えるために演奏されるイントロダクション。「瀧落菅攪」は箏曲として内地から琉球に伝えられた曲の一つです。生田流・山田流の源流である八橋流の流れを今に伝えています。「菅攪」とは歌のない器楽曲を現す言葉。琉球古武道の演武とともにお楽しみください。
琉球古武道は、琉球王国時代より各種の武器術が首里・那覇の士族を中心に行われていました。広く知られている俗説の一つとして、琉球には禁武政策により武器がなかったため、徒手空拳の空手(唐手)が発展し、生活の道具で身を守ったとあります。今回の演武ではトウンファーと呼ばれる、石臼をまわす柄の部分を模した武器を使用します。
3. 谷茶前は実在する村の名前。250年ほど前に、万座毛(まんざもう)に立ち寄った琉球王を歓待するため、村人たちが披露した歌や踊りの1曲。魚が沢山取れたと喜ぶ漁村ののどかな男女の様子を、波が船端をたたくような弾んだリズムに乗せて、歌われた曲です。曲中にある、「スルル」とは、「キビナゴ」のこと。「大和ミズン(ミジュン)」とは、イワシに似た魚を意味します。
明治初期に舞踊の名人といわれた玉城盛重が谷茶に伝わる古謡を元に、女性がパーキ(竹籠)を、男性がウェーク(籠)を持って踊る雑踊り(ぞううどい)の振り付けをして人気を博しました。

4. 芭蕉布は、糸芭蕉からとれる繊維を利用して大変な手間隙をかけて織り上げる、沖縄の代表的な織物です。軽くて通気性がよく、さらりとした肌触りが独特で、沖縄の風土にマッチした大変美しい織物です。盛夏の着物として現在も広く愛用されています。江戸時代には夏袴(なつかみしも)として人気がありました。
この曲は1965年(昭和40年)吉川安一が作詞し、普久原垣勇が作曲しました。美しい風景の中で大切にはぐまれた素晴らしい伝統を歌にしました。
5. 「ひやみかち」とは「目を覚ませる、エイヤッと気合を入れ、(起き上がる)」という意味。
第二次世界大戦中、地上戦が展開された沖縄。終戦後、荒廃したふるさとと人々の心を奮い立たせたい、少しでも励ましたいと平良新助氏(1876年ー1970年)が琉歌を詠みました。それが「ヒヤミカチ節」の1番の歌詞になっています。山内盛彬氏が曲をつけ1953年に完成した楽曲です。
三線の音色にギターソロも加え、私たちがアレンジしたスペシャルバージョンで、皆さんに元気をお届けできるように。メンバー一同、気合を込めて演奏します。「ヒヤッ!!」
6. 1998年、森山良子さんが、ライブで共演したBEGINと意気投合。沖縄の曲を依頼しました。
送られたデモテープのタイトルに書いてあった「涙そうそう」は沖縄の言葉で「涙がぼろぼろこぼれ落ちる」という意味。森山さんは、仲が良くなんでも相談して頼りにしていた、若くして亡くなられたお兄様を想う歌詞をつけました。
その後、夏川りみさんの歌でも大ヒットし、映画が製作されたり、音楽の教科書にも掲載されるなど、多くの人に親しまれています。
皆さんも、自分を見守ってくれている大切な人を思いながら、是非と一緒に歌いましょう!

湘南鎌倉総合病院

第15回 院内コンサート

日時：2019年 7月13日 (土)

15:30~16:00

出演：湘南海亀 with カメカメビームス

会場：当院 1階エントランス

7月は沖縄音楽をお楽しみください♪

曲目：◆ 沖縄民謡 安里屋(あさどや)ゆんた
谷茶前(たんちゃめえ)節

◆ 琉球古典音楽
瀧落菅攪(たちうとうしすがち)

◆ 涙(なだ)そうそう ほか

♪ 曲目は変更になる場合がございます
♪ お問い合わせ：院内コンサート実行委員会

プログラムの解説は、湘南海亀のI様が用意してくださいました。

院内コンサートのために熱心に準備してお越しくださる演奏者の皆様には、頭が上がりません。

終演後には、お客様からお声をかけていただき、演奏者と共に話が弾むこともございます。今回も、沖縄音楽の思い出や沖縄音楽で思い出すご家族のお話をお聞かせくださった方がありました。とても嬉しかったです。

これからも、皆様に愛されるコンサートを作っていきたいと思っております。